

2014年秋 装いも新たに生まれ変わり、次の一步へ
10月8日(水)
外装リニューアルオープン

“洗練された大人の街” 烏丸エリアから
「時代の今」を発信し続ける好感度百貨店へ

京都への国内外からの観光客の増加や、『都心回帰』の高まりによる居住者の増加など、今、注目を集める『四条烏丸エリア』を、大人の街として、さらに魅力ある街にしていきたい。大丸京都店はその中核として、四条烏丸の街並みに調和した地区のランドマークとなるべく、伝統的な美しさと最新の機能を併せ持つ外装に一新いたします。

大丸京都店は1912年に現在の地、四条烏丸に出店し、一昨年100周年をむかえました。そしてこの秋、半世紀ぶりに外装をリニューアルいたします。“洗練された大人の街” 烏丸エリアから「時代の今」を発信し続ける好感度百貨店として大丸京都店は成長してまいります。



2014年 10月 リニューアルオープン

■外装コンセプト

心齋橋店をモチーフに神戸店・札幌店の「ネオ・クラシック」デザインの流れを継承し、永続性と大丸のアイデンティティを表現。

伝統や歴史的様式を取り入れ、現代的に再構築したデザイン。現存するウィリアム・メレル・ヴォーリズのデザインモチーフを一部参照し、四条通りの街並みに調和した、安心感のあるクラシックデザインをモダン化したデザインにしました。

古典主義建築の定石であるファサード表現<3層構成【下層階：大理石（ベース）、中層階：レンガタイル（ボディ）、上層階：塗り壁（クラウン）】>を踏襲し、くじやくのブロンズ像を中心に東西のタワー形状・対称性（シンメトリー）を強調した外観は、格式ある普遍的な美しさをかもし出しています。また、看板についても京都市景観条例に基づき建物に沿うデザインに変更するなど、古都の街並みにじっくり溶け込むよう工夫しました。

■大丸京都店のシンボル、孔雀のモニュメントふたたび！

大丸と孔雀とのつながりは、大正14年、大丸心齋橋店の心齋橋筋側中央玄関上部に陶製の羽根を広げた壮麗な孔雀の装飾を初めて掲げたことが始まりです。なぜ孔雀なのかは諸説ありますが、“孔雀屋敷”と呼ばれていた屋敷が心齋橋店の近隣にあったことに由来するとか、アメリカの会社にフェニックス像を注文したところ、何かの事情で孔雀に変わったという説もあり、大変謎めいた興味深い話です。

京都店では昭和40年、正面外壁に孔雀のブロンズ像（縦7メートル、横5メートル、重さ2.5トン）を取り付けました。以来、大丸京都店のシンボルとして親しまれた孔雀のブロンズ像は昨年10月1日に、設置以来初めて改修のため取り外されました。現在修復工事中の孔雀のブロンズ像は、今秋、装いも新たに生まれ変わった外壁に帰ってきます。夜間にはライトアップされ、当時の美しさを取り戻した孔雀がふたたびよみがえります。



夜間のイメージ

■9月下旬、孔雀が空より舞い降ります！

現在、孔雀のブロンズ像は富山にある専門の工房で修復を受けております。

長年の風雨に晒され損傷が激しかった孔雀像ですが、熟練の職人による丁寧な補修が施され、きれいによみがえった孔雀は、9月上旬、京都店へ帰ってきます。屋上で最終の組み立て・点検の後、9月下旬、巨大クレーンによって屋上から吊り下ろされ、元の場所へ設置されます。



■最新技術を駆使し、「人と環境にやさしい建物」に生まれ変わります。

よりわかりやすい店へ①【デジタルサイネージの設置】

地上15.5メートルの壁面にデジタルサイネージを設置（縦1.2メートル 横6.7メートル）。今後、行政が進める「歩いて楽しいまちなか計画」により歩行者が増えることもあり、店内のイベント・催しや行政の取り組みなどを、より大勢のお客様にタイムリーに見ていただきやすく、分かりやすくご案内できるようになります。また、現在8箇所設置されている店内外のデジタルサイネージを11箇所に増設。四条通り側のデジタルサイネージ1箇所は、外国人観光客にむけた発信を行う予定をしております。

よりわかりやすい店へ② 【外国人観光客への取組み】

世界の国々から観光客が訪れる街、京都では外国人観光客への取組みも重要です。10月1日の免税サービスの変更にともない、大丸京都店では今まで、サービスカウンター内に設置されていた免税カウンターを専用カウンターとしてリニューアルを行います。また免税リーフレットの配布や通訳スタッフの常駐予定など、観光都市・京都の名にふさわしい百貨店を目指します。

よりわかりやすい店へ③ 【入口の変更・バリアフリー化】

四条東入口を東に約15メートル移設。河原町方面からのお客様や南から横断歩道を渡られてご来店されるお客様に対して入りやすい位置に移設しました。また、入口を東側に変更することにより、東エスカレーターの利便性が高まり、今まで西エスカレーターや西エレベーターに集中していたお客様の高倉通り側への回遊を高め、混雑を回避できるだけでなく、より見ていただきやすい店へと生まれ変わります。また、風除室の拡大、一部自動ドア化により車椅子やベビーカー連れのお客様にもご利用していただきやすくなりました。

そのほか、これまでご不便をおかけしていた6階・7階の高倉南側客用トイレの段差をなくし、バリアフリー化を実現しました。

環境にやさしい店へ 【太陽光パネルの設置・LED化の推進】

孔雀のブロンズ像の背面に縦11メートル・横6.6メートルの太陽光パネルを設置します。これは外装の雰囲気を損なわないように配慮した、ガラスと一体化した太陽光パネルを採用しました。

年間予想発電量は6017kWh。(このシミュレーション値は参考値であり、実際の発電量と異なる場合があります。) デジタルサイネージもしくは外部サイン(正面・側面・塔屋部)相当にかかる電力をまかなう予定です。

大丸京都店は、商業施設としてクールスポット・ウォームスポットとして貢献するだけでなく、温室ガスの排出量の削減、エネルギー自給率の向上、電力会社の供給不足への不安軽減に、少しでも貢献すべく、取り組んでまいります。

他にも店内照明のLED化を段階的に進めており、今回の改装ではコリドール、外部サイン、夜間ライトアップの照明をすべてLED化いたします。また、環境にやさしい軽量で施工性に優れたGRC工法を採用しました。



京都の風景にふさわしい街づくりを目指しながら、孔雀の再設置や京都初となる大型デジタルサイネージの設置など地域のランドマークとして皆様に親しんでいただける建物となるよう計画しました。

10月8日(水) グランドオープン!
今後とも大丸京都店をご愛顧いただきますよう
よろしくお願い致します。

株式会社大丸松坂屋百貨店 大丸京都店 PR 広報 担当：上田 裕加
TEL (075) 241-6974 FAX (075) 241-6651 メールアドレス yuka.ueda@jfr.co.jp